



## 2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月10日

上場会社名 株式会社プレナス 上場取引所 東  
 コード番号 9945 URL <https://www.plenus.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）塩井 辰男  
 問合せ先責任者（役職名）経営管理室長（氏名）丸山 俊也 TEL 03(6892)0304  
 四半期報告書提出予定日 2018年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年2月期第1四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	38,015	2.3	207	△89.9	331	△84.2	△2	—
2018年2月期第1四半期	37,169	2.9	2,046	66.2	2,093	66.0	1,205	116.5

（注）包括利益 2019年2月期第1四半期 △28百万円（-％） 2018年2月期第1四半期 1,229百万円（126.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	△0.08	—
2018年2月期第1四半期	31.48	31.45

（注）2019年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第1四半期	92,015	64,784	69.7
2018年2月期	91,499	66,098	71.6

（参考）自己資本 2019年2月期第1四半期 64,149百万円 2018年2月期 65,499百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	76,200	3.6	800	△74.8	950	△71.3	300	△83.0	7.84
通期	159,300	9.3	3,700	△25.7	4,100	△22.1	1,600	△32.0	41.79

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注)詳細は、添付資料P. 8 「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年2月期1Q	44,392,680株	2018年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	6,103,709株	2018年2月期	6,103,702株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年2月期1Q	38,288,975株	2018年2月期1Q	38,285,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、2018年7月10日(火)に当社ホームページのIR情報に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復基調が続きました。当外食産業におきましては、原材料価格や物流費の上昇、人手不足に伴う人件費の上昇等、引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、お客様の満足度向上に努めるべく、商品力、店舗販売力の強化を目指すと共に、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、380億15百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は2億7百万円(前年同期比89.9%減)、経常利益は3億31百万円(前年同期比84.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円(前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純利益12億5百万円)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったものの、臺灣富禮納思股份有限公司などの新規連結や、新規出店により店舗数が増加したことが要因で前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、主に仕入コストの上昇、人材確保・育成への投資により、前年同期実績を下回りました。

[国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,723店	20店	4店	2,739店	19店
やよい軒	351店	5店	—	356店	1店
MKレストラン	33店	1店	—	34店	1店
合計	3,107店	26店	4店	3,129店	21店

[海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	2店	—	—	2店
	韓国	12店	1店	1店	12店
	オーストラリア	1店	—	—	1店
やよい軒	タイ	167店	6店	1店	172店
	シンガポール	8店	—	—	8店
	オーストラリア	4店	1店	—	5店
	台湾	12店	2店	—	14店
	米国	3店	—	—	3店
	フィリピン	2店	—	—	2店
	マレーシア	1店	—	—	1店
合計	—	212店	10店	2店	220店

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

新ブランドスローガン「やっぱり、お弁当屋さんのおべんとうはおいしい。」を策定し、「のり弁当」の価格を改定するなど定番商品の強化を図り、より価値のある商品の提供と、TVCMを中心とした新ブランドキャンペーンを展開しました。また、お客様の満足度向上のため、店舗の販売力を強化するべく、積極的に人材確保・育成を行いました。

以上の結果、売上高は、272億72百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益9百万円(前年同期比99.4%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比2.2%減)があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、主に仕入コストの上昇、人材確保・育成への投資により、前年同期実績を下回りました。

【やよい軒事業】

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「鶏もも一枚揚げ定食」や「牛焼肉定食」等、ターゲットをより明確にした商品の開発や販売促進活動を展開いたしました。

以上の結果、売上高は77億41百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は3億86百万円(前年同期比21.4%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比1.2%減)があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、主に仕入コストの上昇により、前年同期実績を下回りました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃えるなど、商品力の強化に努めました。また、広島県内の1号店として高取北店をオープンし、店舗数は34店となりました。

以上の結果、売上高は8億98百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は11百万円(前年同期比74.9%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が増加(前年同期比2.2%増)したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、人件費の増加等により、前年同期実績を下回りました。

【海外事業】

当第1四半期連結会計期間から、新たに臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)、BayPOS, Inc. (米国)を連結対象としております。当第1四半期連結累計期間におきましては、事業規模拡大を目指して成長基盤強化に努めました。

以上の結果、売上高は7億96百万円(前年同期比86.6%増)、営業損失は1億91百万円(前年同期は、営業損失1億31百万円)となりました。

【その他】

宮島醤油フレーバー(㈱は調味料・加工食品のOEM(相手先ブランド名製造)を主な事業としております。また、当社グループ店舗で使用する調味料等の開発も行っております。

以上の結果、売上高は13億7百万円(前年同期比6.7%増)となりました。利益面につきましては、のれん代の償却があり、結果としては営業利益3百万円(前年同期比196.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億15百万円増加し、920億15百万円となりました。内訳は、流動資産1億44百万円の増加、固定資産3億70百万円の増加であります。流動資産の増加は、現金及び預金1億74百万円の増加などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産8億28百万円の増加、投資その他の資産4億55百万円の減少などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ18億29百万円増加し、272億30百万円となりました。内訳は、流動負債15億24百万円の増加、固定負債3億4百万円の増加であります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金6億51百万円の増加、短期借入金4億23百万円の増加、賞与引当金3億66百万円の増加などによるものです。固定負債の増加は、長期借入金1億31百万円の増加、資産除去債務2億13百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億13百万円減少し、647億84百万円となりました。内訳は、利益剰余金13億18百万円の減少であります。利益剰余金の減少は、配当支払による11億48百万円の減少などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,372	14,547
受取手形及び売掛金	2,786	2,490
商品及び製品	5,263	5,413
原材料及び貯蔵品	62	66
その他	2,907	3,042
貸倒引当金	△135	△159
流動資産合計	25,256	25,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,347	32,954
その他（純額）	15,942	16,163
有形固定資産合計	48,289	49,118
無形固定資産		
のれん	1,337	1,251
その他	1,051	1,135
無形固定資産合計	2,389	2,387
投資その他の資産		
その他	15,670	15,170
貸倒引当金	△61	△31
投資損失引当金	△45	△31
投資その他の資産合計	15,563	15,108
固定資産合計	66,243	66,613
資産合計	91,499	92,015
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,097	6,749
短期借入金	53	477
未払法人税等	762	299
賞与引当金	328	694
役員賞与引当金	3	-
ポイント引当金	114	114
株主優待引当金	157	143
資産除去債務	161	6
その他	9,071	9,790
流動負債合計	16,751	18,276
固定負債		
長期借入金	98	229
退職給付に係る負債	55	58
資産除去債務	5,215	5,428
その他	3,281	3,237
固定負債合計	8,649	8,954
負債合計	25,401	27,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,828	4,828
利益剰余金	68,913	67,594
自己株式	△11,897	△11,897
株主資本合計	65,305	63,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	66
為替換算調整勘定	138	95
その他の包括利益累計額合計	193	162
新株予約権	237	237
非支配株主持分	361	397
純資産合計	66,098	64,784
負債純資産合計	91,499	92,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
売上高	37,169	38,015
売上原価	17,003	18,069
売上総利益	20,166	19,946
販売費及び一般管理費	18,120	19,738
営業利益	2,046	207
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	0	0
固定資産賃貸料	34	31
受取補償金	37	20
受取保険金	4	28
その他	26	76
営業外収益合計	115	165
営業外費用		
固定資産賃貸費用	11	3
持分法による投資損失	22	9
為替差損	15	12
貸倒引当金繰入額	-	1
その他	18	15
営業外費用合計	68	42
経常利益	2,093	331
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	25	52
減損損失	65	6
その他	0	2
特別損失合計	90	60
税金等調整前四半期純利益	2,004	270
法人税等	791	260
四半期純利益	1,213	9
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	12
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,205	△2

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
四半期純利益	1,213	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	11
為替換算調整勘定	15	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△10
その他の包括利益合計	16	△38
四半期包括利益	1,229	△28
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,222	△41
非支配株主に係る四半期包括利益	7	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。なお、当第1四半期連結会計期間において、臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)及びBayPOS, Inc. (米国)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年3月1日至2017年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ほっと もっと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	27,197	7,465	855	426	35,944	1,225	—	37,169
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	125	15	—	—	140	354	△495	—
計	27,322	7,480	855	426	36,085	1,579	△495	37,169
セグメント利益又は損失(△)	1,655	491	44	△131	2,060	1	△15	2,046

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社1社分であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ほっと もっと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	27,272	7,741	898	796	36,708	1,307	—	38,015
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	159	20	—	—	180	438	△618	—
計	27,432	7,762	898	796	36,888	1,745	△618	38,015
セグメント利益又は損失(△)	9	386	11	△191	214	3	△10	207

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社1社分であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。